

令和3年5月12日
株式会社日本政策金融公庫
横浜支店

酪農業における第三者事業承継が実現 ～事業承継と新規就農を関係機関が連携して支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）横浜支店農林水産事業は、後継者を探していた農家から酪農経営を継承し、新たに経営を開始する小川翔吾さん（神奈川県伊勢原市）に対して、事業承継に必要な資金を融資しました。

関係機関が連携して支援し、酪農業における第三者事業承継が実現した事例です。

《ポイント》

○ 第三者による事業承継新規就農

小川さんは幼い頃から牛や牧場に憧れを抱き、酪農業を学べる高校・大学に進みました。卒業後は神奈川県畜産技術センターでの勤務を経て、東京都及び神奈川県内の牧場に勤務し、酪農経営への思いを強くしていきました。

そんな中、後継者を探していた秦野市の酪農経営者と出会い、酪農経営に踏み出すことを決意。令和2年4月、事業承継を目指して秦野市に相談し、同年10月、秦野市の酪農経営者の下での勤務を開始しました。円滑な承継に向けた飼養技術の習得、経営開始に向けた準備を進め、このたび事業承継が実現しました。

○ 関係機関・日本公庫が連携して支援

今回の小川さんの事業承継にあたっては、本人、現在の経営者、日本公庫に加え、秦野市、県畜産技術センター等の関係機関が定期的に「秦野市酪農事業継承会議」を開催し、新規就農に必要な技術習得や行政手続、承継資産の評価、計画書作成等のサポートを行うことで、円滑な事業承継を後押ししました。

また、日本公庫は、乳牛や機械の承継資産購入等に係る、事業承継に必要な資金として青年等就農資金を融資しました。小川さんの円滑な経営の立ち上がりをサポートするため、就農直後の返済負担を考慮した融資条件を設定するなどの対応を行いました。

事業承継後も、各機関が連携しながら小川さんの経営をフォローし、必要な支援を継続していく予定です。

○ 本人の意気込みと関係機関からの応援コメント

【小川 翔吾さん】

「酪農経営にかける想い、これまでの経験、周りの方々のサポートが重なって、経営開始にたどり着きました。これからは、自分と同じように新規就農を志す皆さんの力となれるような存在になることを目指してまいります。」

【前経営主 小林 哲夫さん】

「私のこれまでの経営を引継いでくれる人に巡り合えたことは大変嬉しいことです。自分のこれまでの経営資源を上手に活かしながら、早く小川さん自身の経営を確立し、経営発展していったらと思います。」

【秦野市農業振興課】

「約1年間の経営継承会議を経て就農となりましたが、ここからが本番となるため、これまで学んできたことを存分に発揮し経営の安定化に向けて頑張ってくださいと思います。」

【神奈川県畜産技術センター普及指導課】

「今、小川さんは、酪農業のスタート地点に立ったばかりで、経営を実践しながら、飼養管理や経営管理の技術を向上させるとともに、地域とのコミュニケーションを図りながら、安定経営の確立を目指します。畜産技術センターは安定経営に向け、引き続き、サポートしていきます。この度の秦野市の事例が、神奈川県酪農業における、事業継承のモデルケースとなり、波及するよう情報発信していきたいと思っております。」

日本公庫は、今後とも関係機関と連携・協力しながら、事業承継や新規就農などの神奈川県の地域農業振興に向けた取組みを積極的に支援して参ります。





<ご融資先概要>

氏名	小川 翔吾
事業地	神奈川県秦野市
事業内容	酪農業
融資内容	青年等就農資金（金額非公表）

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 横浜支店 農林水産事業 Tel : 045-641-1841 (担当 : 木村、池浦)
 〒231-8831 神奈川県横浜市中区南仲通 2-21-2